

令和2年度 国土交通省「BIM/CIMリクワイアメント」への対応

会社名	福井コンピュータ株式会社
ソフトウェア名/Ver.	TREND-POINT Ver.7.1
適用分野	BIM/CIM全般、i-Construction
適用フェーズ	全フェーズ

国土交通省 BIM/CIM実施要領より				ソフトウェアの対応状況
No.	項目	目的	概要	
1	段階モデル確認書を活用したBIM/CIMモデルの品質確保	<ul style="list-style-type: none"> ●CIMモデルの品質向上 ●マニュアルの試行・改善 	<ul style="list-style-type: none"> ●BIM/CIM活用項目を実施するにあたり、「段階モデル確認書」に基づきBIM/CIMモデルの共有、確認等を実施し、活用した場合の効果や課題について抽出すること 	対応している機能 ・「LandXML1.2に準じた3次元設計データ交換標準（案）Ver.1.3」に準じたデータの読み込み ・読み込んだデータを3次元的に確認し、モデルの形状やデータの有無、土量計算結果を確認 ・目視や計測機能を用いて、サーフェスの寸法や勾配、取り合いを確認
2	情報共有システムを活用した関係者間における情報連携	<ul style="list-style-type: none"> ●情報共有の制度化 ●ASP機能要件の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ●建設生産プロセス全体における品質確保を図るため、情報共有システムの3次元データ等表示機能等を活用し、受発注者等の関係者間における情報連携を実施すること 	対応なし
3	後工程における活用を前提とする属性情報の付与	<ul style="list-style-type: none"> ●属性情報の標準化 ●ガイドラインの拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ●ガイドラインに沿った属性情報以外に、当該事業の特性等から追加すべき属性情報を検討し、その利用目的や利用にあたっての留意点等を一覧表としてとりまとめること 	対応なし
4	工期設定支援システム等と連携した設計工期の検討	<ul style="list-style-type: none"> ●4Dモデルの標準化 ●マニュアル化の基礎資料 	<ul style="list-style-type: none"> ●『設計－施工間の情報連携のための4次元モデルの考え方（案）』を参考に、想定する施工順序等と連動するよう、施工ステップ等に沿ったBIM/CIMモデルを構築すること 	対応なし
5	BIM/CIMモデルを活用した自動数量算出	<ul style="list-style-type: none"> ●5Dモデルの基礎資料 ●新積算法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●BIM/CIMモデルから概算事業費の算出に必要な各数量を算出するとともに、算出された数量に基づく概算事業費の算出を行うこと 	対応している機能 ・土構造物におけるサーフェス間の数量算出を「点高法」および「プリズモイダル法」で算出が可能
6	契約図書としての機能を具備するBIM/CIMモデルの構築	<ul style="list-style-type: none"> ●3DAモデルの課題整理 ●表記標準の試行・改善 	<ul style="list-style-type: none"> ●「表記標準」に従い、契約図書としての要件を備えたBIM/CIMモデルを作成すること。また、作成した3次元モデルと2次元図面との整合性について確認すること 	対応なし
7	異なるソフトウェア間で互換性のあるBIM/CIMモデル作成	<ul style="list-style-type: none"> ●照査の品質向上 ●3D照査手法の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ●IFC形式またはJ-LandXML形式のBIM/CIMモデルについて、異なるソフトウェア間における属性情報の欠落、参照情報のリンク切れ等の互換性を確認すること 	対応している機能 ・「LandXML1.2に準じた3次元設計データ交換標準（案）Ver.1.3」に準じたサーフェスモデルの受け渡しが可能
8	BIM/CIMモデルを活用した効率的な照査	<ul style="list-style-type: none"> ●照査の品質向上 ●3D照査手法の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ●3次元モデル及び属性情報を活用することで効率的かつ確実な実施が見込まれるものを選定を行い、BIM/CIMモデルを活用した効率的な照査を実施すること 	対応している機能 ・モデル上の基準位置と比較することで出来形の管理を効率的に実施することが可能
9	BIM/CIMを活用した監督・検査の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ●監督・検査の効率化 ●マニュアルの拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ●ICTを活用した3次元計測と連携することでBIM/CIMモデルを活用した効率的かつ確実な監督・検査の実施に向け、必要な事項を取りまとめること 	対応している機能 ・「ICTの全面的活用」を実施する上での技術基準類に基づいた出来形ヒートマップの作成が可能
10	後段階におけるBIM/CIMの効率的な活用方策の検討	<ul style="list-style-type: none"> ●フロントローディング ●施工の合理化 	<ul style="list-style-type: none"> ●CIMモデルを用いた仮設計画、施工計画を行うこと ●3次元計測と連携した出来形管理を検討、実施すること 	対応している機能 ・点群データと3Dモデルのビューイングによる施工計画や景観確認等のフロントローディングに活用可能 ・ヒートマップの作成、3次元的な計測機能による出来形計測が可能
11	その他	(業務特性に応じた項目を設定)		
				その他、補足等